

その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数5,317人のうち、1,074人の方から自由意見が寄せられました。

いただいた自由意見について、調査に関する御意見と調査以外のことに関する御意見の2つに整理しました。

(1) みえ県民意識調査に関する御意見（224件）

今後できるだけ多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

① 目的や活用に関すること

- ・ 解析を適切に行い正しく活用すべき。
- ・ 是非、参考にして頂き、より住み良い県になることを望む。
- ・ アンケート結果をもとにして必ず政策を実行してほしい。
- ・ このアンケートがどのように政策にフィードバックされるのか分かりにくい。

② 調査票の内容や構成に関すること

- ・ 後期高齢者なので該当するのが無い部分があった。
- ・ 質問の内容がわかりにくかった。
- ・ 質問の偏りを感じる。
- ・ 今回のアンケートは年齢別に調査した方がよい様に思う。
- ・ 答えにくい選択肢がある。

③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- ・ インターネットでも回答できるようにすべき。
- ・ 協力者に結果を送付すべき。
- ・ 三重県のことをこの機会に振り返れてよかった。

(2) 調査以外のことに関する御意見（延べ1, 415件）

さまざまな分野に関する御意見もたくさんいただきました。

県政に関する御意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民カビジョン」における15の政策別、サミット関係、その他に分類した内訳は次のとおりです。

「みえ県民カビジョン」

01. 防災・減災	32 件
02. 命を守る	70 件
03. 共生の福祉社会	87 件
04. 暮らしの安全を守る	59 件
05. 環境を守る	15 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	22 件
07. 学びの充実	70 件
08. 希望がかなう少子化対策の推進	94 件
09. スポーツの推進	6 件
10. 地域の活力の向上	60 件
11. 農林水産業	19 件
12. 強じんて多様な産業	23 件
13. 世界に開かれた三重	49 件
14. 雇用の確保と多様な働き方	77 件
15. 安心と活力を生み出す基盤	98 件

その他(行政全般・知事に対して等) 364 件

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数（N）、 および回答率（P）によって決定されます。

$$\text{標本誤差} \quad E = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}} \quad E : \text{標本誤差} \quad N : \text{回答数(人)} \quad P : \text{回答率(\%)}$$

次表は、上式にNとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は3%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が50%の場合、信頼度95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まること）では、1,111件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±2%では2,500件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,236件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

$$\text{サンプル数 } N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P) \quad (1) \quad ※1$$

N：サンプル数 P：回答率（%） E：標本誤差 k：信頼度係数 ※2

※1：一般に人口1万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（1）を使用した。

※2：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度95%の場合は1.96であるであるが、近似値として2を用いている。

サンプル数決定の早見表(信頼度 95%)

標本誤差 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400